

■ 銘柄: 金 ■

氏名: 宮永 正人

サポートラインを意識して緩やかに強気の展開へ

東京金先限日足 & NY金期近日足比較チャート



■ コメント ■

○東京金先限終値 2,885円 (前日比+18円)
 1円以上の円高にもかかわらず、国内の金市場は底堅い展開になりはじめた。
 おそらく、テクニカルを中心とした買いが入っているようだ。今後、ポイントになるニュースをまとめてみた。
 ①金ETF (SPDR) ゴールド・トラストの大口取得データが米証券取引委員会 (SEC) から公表され、大手ヘッジファンド「ポールソン&カンパニー」が3月末時点で全体の8.7%の最大保有者と判明し、ファンド資金が金市場に流入していることを裏付けた形になり、今後の金投資需要は拡大する方向にある。
 ②産金最大国の南アフリカで金生産が減少傾向にあること
 ③英HSBCが2009年金価格予想を825ドルから875ドルに上方修正していること
 ④GFMS社が、第1四半期の金需要が前年比38%増加の1016トンと発表し、特に中国の金需要が高まっていること
 ⑤6月以降は、金最大の消費国インドの経済情勢回復や婚礼シーズンによる需要増加シーズンで消費が一段と高まる
 などの将来的に上昇を予測させる金独自の材料が増えてきたようだ。
 パターン分析では、国内はラウンド・ボトムで反転モードになり、NY金はサポートラインを意識して強気継続の流れ。
 そろそろもみ合いが終了し、金の上昇が期待できるだろう。(21日 16:30 宮永)

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
 詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。